

ミニレター

平成27年

5月号

広島市教育センター

◆1ページ

- ・研修の様子（広島市ハイスクールビジョン講演会）
- ・学校紹介（古市小学校）
- ・案内（21世紀教育セミナー）

◆2ページ 教育最前線

- ・Ⅰ「アクティブ・ラーニング」を見据えた授業『社会科編』
- ・Ⅱ 教育委員会発！情報FLASH「デジタル教科書」（長東小学校）

平成27年度が始まり約2か月が過ぎようとしています。教育センターでは研修が本格的に始まりました。本年度も先生方の日々の実践に役立つ情報を毎月1回提供していく予定です。掲載している2枚の写真は、4月13日（月）に開催された「広島市ハイスクールビジョン講演会」の様子です。この研修会では、高等学校教職員を対象に、産業能率大学経営学部 教授 小林昭文 先生より『「アクティブラーニング型」授業の意義・効果・始め方』について講演していただきました。

小林先生は、学習とは知識を覚えることではなく、「体験する」→「振り返る」→「気付く」→「計画を作る」→「体験する」→・・・の一連の経験をして成長することが「学習」であると定義され、教師の授業観の転換の必要性を強調されました。また、アクティブラーニング型学習には一定の型があるのではなく、例えば、言語活動の充実、協働学習、問題解決型学習、思考ツールを活用した学習など、子どもがアクティブに思考する時間を増やすことの重要性を話されました。子どもたちが受動的に学ぶ授業から、能動的に学ぶ授業へ。これから求められる授業スタイルです。

（例）
小林先生が示された1時間の授業プロセス

1

学習内容の説明
（ルール・目標の提示等）

2

問題演習
（問題と解答・解説プリント
配付等）

3

振り返り
（確認テスト・リフレクション
カード記入等）

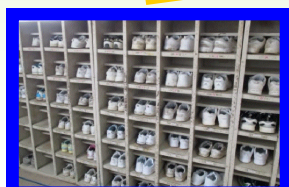
学校紹介

「わかる授業」は学びの基盤づくりから

学びの基盤である学習規律は、集団生活の中や成長の過程で自然に身につくものではなく、教師の意図的・計画的な指導によって子どもたちに身につけていくものです。古市小学校では、6年前から、子どもたちに身につけてほしい規律や、教師として指導する際の心構えなどを「古市小ガイド」としてまとめ、全職員の意識統一を図っています。「古市小ガイド」をもとに、あたり前のことを大切に、学校中の誰もが同じ基準で子どもたちの指導に当たることで、安定した学習基盤をつくることができます。このことが、「わかる授業」につながり、子どもたちの学ぶ意欲を高めています。



挨拶は立ち止って、自分から



かかとを揃えて、靴箱へ



心をこめて無言で清掃

職員の意識統一を図るための 古市小ガイド

授業について（抜粋）

- 学習が終わったら、次の学習の準備をしてから休憩する。
- 忘れ物があるときは、授業が始まるまでに教師に伝える。
- チャイムの合図で学習が始められるように席に着く。
- 授業の始めと終わりには、手を膝の上に置いて姿勢を正し、教師と目を合わせてから挨拶をする。
- 正しい姿勢で学習する（椅子に深く腰掛け、背筋を伸ばす。両足を床につける。）
- 鉛筆を正しくもって書く。
（親指と人差し指で鉛筆をもち、中指で後ろから支える。）
- 挙手は手をまっすぐ上に伸ばす
- 名前を呼ばれたら「はい。」と返事をする。

案内

21世紀教育セミナー

ソチ五輪銀メダリスト竹内智香選手に、「これまでの挑戦 そしてこれからの挑戦」をテーマに自身の経験を踏まえた、講演をしていただきます。



竹内 智香

申込・問合せは
広島市教育センターまで

教育最前線Ⅰ シリーズ「アクティブ・ラーニング」を見据えた授業①

次期学習指導要領では、「どのように学ぶのか？」という学びの質や深まりを重視し、課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習を一層充実していく必要があります。このため、毎回、各教科・領域における指導のポイントをシリーズで紹介していきます。

社会科編

思考ツールを活用し、主体的に、協働的に、社会的事象を捉える

社会科がめざす授業は、子供たちが主体的に問い、調べ、考え、話し合い、つなぎ合い、問題を解決していく授業です。その過程の中で、知識を身に付け、関連づけることで社会科で身に付けさせたい概念を獲得していきます。子どもたちが主体的に考え、協働的に話し合い、つなぎ合い、問題を解決していくために、有効な思考ツールを活用して考える授業例を紹介します。

学習問題「広島県ってどんな県？」

小学校4年生「広島県の様子」

- 1 広島県の魅力再発見！
「広島県ってどんな県？」
県外の人に広島県の魅力を
たくさん紹介しよう。
- 2 出てきた事象を関連
させて考えよう。
(個人学習)
- 3 みんなで関連させると、広島県ってどん
な県？ (グループ学習)

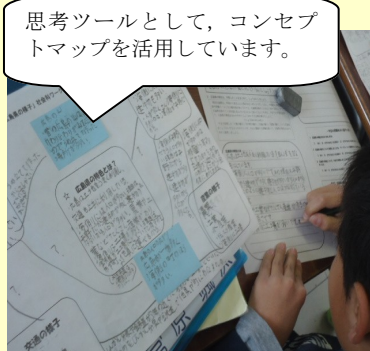
魅力的な問いの設定

・子供にとって魅力的な問いにすることで、調べる意欲が高まります。

- 広島平野
- 温暖な気候
- レモンの生産日本一
- 風の強い日が少ない
- 瀬戸内海の島々
- 中国山地のスキー場

思考ツールの活用

・何と何の事象が関連できるのか、なぜ関連できるのか、試行錯誤が促進され、主体的に考えることができます。



・自分と友達に考えたことが見える化されているため、課題解決に向けて、互いの考えを比較したり、関連付けたりしながら、協働的に考えることができます。

「レモンの生産日本一」には、「島が多い」や「風の日」もつなげられそう。

僕が書いたスキー場は、どうつなげばいい？

「温暖な気候」と「レモンの生産が日本一」僕は、この二つをつなげたよ。

みんなの考えをまとめると、広島県は気候や地形を生かしているって言えるね。

教育最前線Ⅱ 教育委員会発! 情報FLASH

デジタル教科書使ってます!!

小学1年算数 単元名「なんばんめ」

広島市では、本年度、全小学校全学年に算数科のデジタル教科書を導入しました。デジタル教科書の特徴の1つとして動画があり、場面を動かしたり、停止させたりして、何度も確認することができます。今回は、長束小学校での活用の様子を紹介いたします。

きつねはなんばんめですか。

問題把握場面
大きく提示 (問いの共有)

きつねは3ばんめです。

発表場面
(考えの共有)

かくにんしてみましょう。

確認場面
(動画で繰り返し確認)